

体が、こころが、喜ぶ。

あさ GO

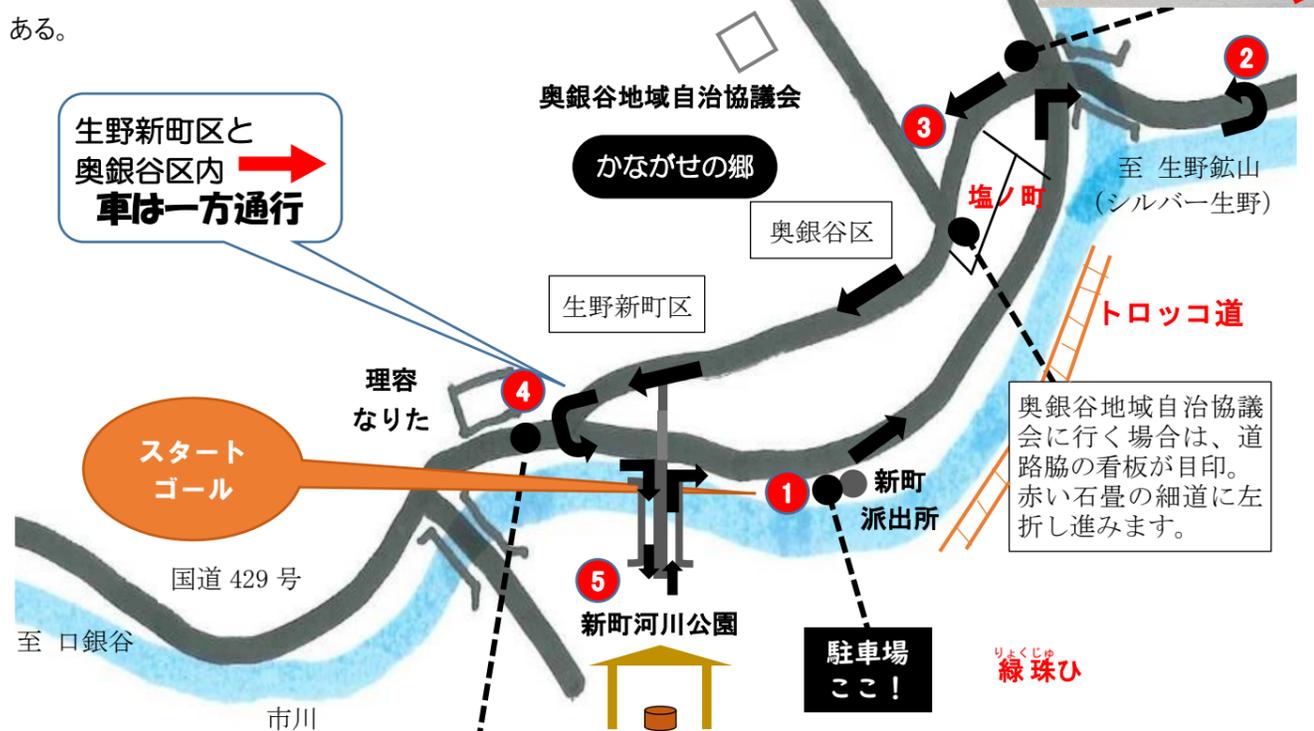
けんこう 健幸

ウォーキングのすすめ

奥銀谷かながせの郷コース 距離:3.2km

【旧奥銀谷小学校】

明治7(1874)年4月、奥銀谷町字倉屋敷の官有米蔵を校舎として創立。現在の校舎は5代目となり135年の歴史を誇っていたが、児童数減少によりやむなく平成21(2009)年3月をもって閉校した。左横には奥銀谷地域自治協議会の建物があ



コースの道順

スタート

- ①新町派出所 横駐車スペース出発
市川沿いを歩きます
上り坂が続きます
②シルバー生野 施設内で折り返し
③奥銀谷区内を歩きます
④理容なりた近くの角をシルバー生野方面へ、橋を渡ります
⑤新町河川公園 一休み
①新町派出所横スペース

ゴール



【生野鉱山】

生野鉱山は、戦国時代から近代にかけての日本有数の鉱山である。織田、豊臣、徳川、直轄鉱山として栄え、金、銀、銅などを産出した。明治新政府が日本の工業の近代化を確立するために最初に官営とした模範鉱山である。



【緑珠ひ】りよくじゅひ

国重要文化的景観構成要素

「緑珠ひ」は、市川左岸にある扇山の岩盤から縦方向に近世から開発された坑道で、市川を挟んで右岸の「漆谷ひ」につながる長さ1,300mに及ぶ大きな銅鉱脈の一部である。閉山までの期間、銅生産の一翼を担った。住宅に接近し、生野鉱山の採掘現場を間近に見ることができる代表的な坑道の一つで、とても貴重な遺構である。



【オオサンショウウオ】

理容「なりた」を過ぎて、奥銀谷区内には左の道路を進みます。一方通行です。奥銀谷地域自治協議会にも駐車スペースがあります。



コースの紹介

健幸ウォーキングのポイント

このコースは、生野鉱山に関する多くの歴史遺産を至る所で見るのできるコースになっています。スタートは、国道429号線沿いの新町派出所横、あずまやのある駐車場からです。そこから「緑珠ひ」やトロッコ道を見ることができます。シルバー生野に向けて上り坂ですが、徐々に登っていくのであまり疲れを感じません。風もさわやかで、樹木の木陰など涼しげなコースになっています。シルバー生野から下って、もと来た道に戻ります。橋を渡って429号線を横切り、奥銀谷区内を歩きます。奥銀谷区(塩ノ町)の街並みを歩きながら、昔の面影を感じてください。国道429号線川向こうのあずまやに向かって橋を渡ります。新町河川公園でトイレ休憩し、新町派出所横の広場に帰り、ゴールとなります。(奥銀谷自治協議会では、週2回水・金曜日の10:00~14:00に喫茶「だんらん」を開催しています。時間が合えば、ぜひお立ち寄りください。)



【現在の塩ノ町】

奥銀谷は川沿いから下夕町(したまち)、塩ノ町(しおのまち)、上町(うえまち)と三つの街区にわかれている。塩ノ町周辺には吹屋が多数あったと伝えられている。吹屋とは、鉱山で採掘された鉱石を買吹人(精錬業者)が精錬する場所のことを言う。鉱石を精錬する際にできた石で家の土台が作られている。

【問い合わせ先】

朝来市健幸づくり推進課 健康増進係
電話: 079-672-5269
ファックス: 079-672-5369